

# POTT研修会だより in松江

**日時** 2016年11月14日(土) 13:00~15:00  
**場所** 介護療養型老人保健施設 虹  
**参加者** 10名(看護師7名 介護福祉士3名)  
**講師** 迫田綾子  
**演習サポーター** 摂食・障害看護認定看護師  
坂田温子 原田久美子 石河映美 林裕子

秋が深まり、寒さが増す中、研修会当日は、秋晴れの暖かな天気となりました。広島から迫田綾子先生と摂食・障害看護認定看護師の坂田温子さんが来て下さいました。(道中は、紅葉も楽しまれたようでした♪)

施設での研修会から1時間後は松江市立病院での研修会となり、ハードなスケジュールでしたが、とても有意義な研修会となりました。

## 参加者の感想

- ・足底をつけると身体の安定さが大きく変わることを実感した。
- ・今までのポジショニングでは、筋緊張があり、飲み込みにくさがあったが、修正後は、楽に飲み込め、また集中できた。安楽になる圧抜きを実践していきたい。
- ・枕を一つ変えることで、安定感が大きく変わることを実感した。
- ・30度の姿勢では、どこから何が来るのかわからず、声かけは大切だと学んだ。見えることが食べる意欲につながるのだと実感した。
- ・今までのポジショニングで出来ていると思っていたが、逆に利用者様に負担をかけていた姿勢だったと反省した。枕がないと、手の重さや、動かしにくさを感じた。
- ・食事介助で、水を使うと飲み込みやすくなる、スプーンを舌に置く位置が大事だと学んだ。



車いすのたわみ補正



シーティング演習

研修後は「久々の楽しい学習会だった!」、  
「体験しながらの研修会で、実感出来たわあ」など感想が寄せられました。

研修後、参加者同士で復習しながら実践されています。

## 施設内に広めます!!



介護療養型老人保健施設 虹  
摂食・嚥下障害看護認定看護師 林 裕子記



最初は講義から開始。  
見学者も一緒です。



圧抜き大切  
ですね



この姿勢で、  
食べられるかな?



肘当てすると  
食べやすい